

3 挿入を見ぬく

本冊 p.8 例題の解答

1 長い目でみると、経験したことは(財産などの)所有物よりも人を(より)幸せにする

2 成功の秘訣は、私が思うに、失敗を恐れないことだ。

実践 1 (本冊 p.9)

解答

(1) 全訳 下線部 1)を参照。

(2) 人間の出す音をまねようとする行動。(17字) / 人間の会話の音を模倣する行為。(15字) など

設問解説

(1) 英文構造を Check! 3を参照。

(2) 1. 2 の trying to copy the sounds ... make や 1. 4 の copy the sounds ... been hearing の行動をさす。

全訳

多くの科学者は、彼らが録音し分析した音は、実は人間の出す音をまねようとしたシロイルカのもの[音]であると思うようになってきた。1) そのシロイルカは長い間人間の近くで暮らして[生きて]いたので、聞こえていた人間の会話の音をまねることができた、と彼ら(=科学者)は思っている。 そのシロイルカは口と鼻の中の圧力を変えることでそうした(=人間の出す音をまねた)のかもしれない、と科学者は信じている。そのシロイルカは、約4年後にこの行動をやめてしまったようだ。

英文構造を Check!

1 Many scientists started to believe that the sounds that they had recorded and analyzed were of a white whale actually trying to copy the sounds that people make.

◆ believe that のあとの the sounds を、「関係代名詞+S'+V'」の that they ... and analyzed が説明している。copy のあとの the sounds that people make も同様の構造である。

◆ were と of の間に、the sounds が省略されていると考えるとわかりやすい。

◆ a white whale を、「現在分詞+～」の actually trying ... people make が説明している。Clue1

3 They think that because the whale had lived close to people for a long time, it could copy the sounds of the human conversation it had been hearing.

◆ think の目的語は、that-節の that because ... been hearing である。接続詞 that の直後に S'V' が続かず、副詞節の because the ... long time が挿入されている。Clue5

◆ had lived は、過去のある時点(=it could copy ...)までの「状態の継続」を表す過去完了形である。

◆ could copy ~は「~をまねることができた」の意味。通例「(過去に)1回限りの行為が実際に

応用英語 解答

できた」の意味では **could** は使えないが、「(いつでも)～できる状況にあった[能力があった]」の意味では使える。

- ◆ **the human conversation** を、「S'+V'」の **it had been hearing** が説明している。 **Clue2**
had been hearing の目的語が、**the human conversation** であることに注意。
- ◆ **hear** 「～が聞こえる」は通例進行形にはしないが、一時的な行為やでき事が続いていることを強調する場合には、進行形にすることができる。

例 *I have been hearing a strange noise from behind me.*

(私の背後から、奇妙な音がずっと聞こえているんだ。)

実践 2 (本冊 p. 9)

解 答

- (1) より幅広い[さまざまな]人と会話をするができること。 (2) **全訳** 下線部 2)を参照。
- (3) 2か国語を話すと、言語とは関係のない知的領域にかかわる技能を高め、高齢期の〔一年を取ってからの〕認知症を予防さえしうる。

設問解説

- (1) 下線部 1)は「明白な実用面での利点」の意味。1. 3 の **than** 以下の **being able ... of people** の部分を答える。 **英文構造を Check!** 2も参照。
- (2) **英文構造を Check!** 4を参照。
- (3) 直後のセミコロン(;)のあとの **it (=being bilingual) can ... old age** で、具体的に説明されている。 **英文構造を Check!** 5も参照。

全 訳

ただ1つの言語(を話すの)ではなく2つの言語を話すことは、ますますグローバル化が進む世界では明白な実用面での利点がある。しかし近年、2か国語を話すことの利点は、より幅広い[さまざまな]人と会話をするができるということよりもさらにもっと根本的である、ということを科学者は示し始めている。2か国語を話すことで、より賢くなるということが(今では)わかっている。2か国語を話すと、脳に多大な影響を及ぼしうる。つまり、言語とは関係のない知的領域にかかわる技能を高め、高齢期の認知症を予防さえしうるのである。

英文構造を Check!

2 **But in recent years, scientists have begun to show that the advantages of bilingualism are even more fundamental than being able to converse with a wider range of people.**

- ◆ **have begun to show** の目的語は、**that**-節の **that the advantages ... of people** である。
- ◆ **are even more fundamental than** ～は「～よりもさらにもっと根本的である」の意味。
even は「さらに、ずっと」の意味で、比較級の **more fundamental** を強めている。

- ◆ **being able to converse with** ～は動名詞句で、「～と会話をすることができるということ」の意味。
- ◆ **a wider range of people** は、「(1か国語しか話せない場合に比べて)より幅広い[さまざまな]人」の意味。

4 **Being bilingual, it turns out, makes you smarter.**

- ◆ 主語と動詞の間に、**it turns out** が挿入されている。文頭に移動させ、**It turns out (that) being bilingual makes you smarter.** と考えるとよい。 Clue6
- ◆ **it** は形式主語で、**being bilingual makes you smarter** という節をさしている。
〈It turns out (that) SV〉は「(結局)SVということがわかる[判明する]」の意味。なお、〈As it turns out, SV〉の形でも同じような意味を表すことができる。
- ◆ **being bilingual makes you smarter** は「2か国語を話すことで、(人は)より賢くなる[←2か国語を話すことが人をより賢くする]」の意味。〈make+O+C〉は「OをCにする」の意味。
この **you** は「一般の人々」をさすので、**you** は訳さないか「人」と訳すとよい。
- ◆ **smarter** は **smart** 「頭のよい、賢い」の比較級。後ろに **than being monolingual** (1か国語を話す場合よりも)などが省略されている。なお、日本語の「スマート(細い)」は、英語では **slim**, **slender** なので注意。

5 **it can improve mental skills not related to language and even prevent dementia in old age**

- ◆ **and** は、**can** に続く **improve mental ... to language** と **even prevent ... old age** をつないでいる。
- ◆ **mental skills** を、**not related to language** が説明している。この **related** は形容詞(化した分詞)である。